

継続的専門能力開発(CPD)認定登録書(参加学習型)

プログラム番号	
教育形態	セミナー
プログラム名	品質管理セミナー 品質管理実践コース(4日間)
主催者(団体)	一般財団法人日本規格協会
協賛・後援	
開催日程	日本規格協会ホームページでご確認ください。
総時間	約 25 時間(計 4 日間)
開催場所	日本規格協会ホームページでご確認ください。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・生産(製造)部門、品質管理・保証(検査)部門、生産技術部門、購買・外注管理部門の方 ・班長・リーダー・職組長(監督者)・係長・責任者・課長で、現在の担当者及び今後これらの職種を目指す方 ・1)、2) の部門責任者となっていく人材育成を目指す方 ・QC 検定 3 級以上の知識を有している方、また当協会の「QC 入門コース」及び「通信講座 QC 入門コース」を受講した方 ・設計・開発部門の方で生産準備段階以降の品質管理・品質保証の流れを理解したい方
定員	日本規格協会ホームページでご確認ください。
題目	
プログラム(次第)	<p>《第 1 日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理実践の基本 ・量産段階の品質管理 ・改善活動 ・統計的データ解析の基礎 <p>《第 2 日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定と推定 ・演習 <p>《第 3 日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理図 ・抜取検査 ・2 変数の間の関係 <p>《第 4 日目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計段階から生産準備段階の品質管理 ・演習
内容	<p>現場で生じる日常的な問題を想定し、それらの解決に最適な QC 手法を、論理的に学ぶだけでなく演習を通じて、より実践的に体得するコースです。現場でよく使用される検定推定・相関回帰分析・抜取検査などの手法の活用から問題解決に向けたアプローチ方法を学習し、ものづくりの全体を理解できるよう、製品設計から生産準備段階、量産段階まで体系立てた講義内容となっております。</p>
プログラムの目標	現場で起こる問題を解決できるQC手法を身に付けること。
CPD点数	80 点

料金	19年04月～19年09月<8%税込>	一般: ¥86,400	維持会員: ¥77,760
	19年10月～20年03月<10%税込>	一般: ¥88,000	維持会員: ¥79,200
※参加費は、テキスト・資料代を含んだ金額です。			
備考(問い合わせ先)	日本規格協会グループ 研修ユニット TEL:03-4231-8570 FAX:03-4231-8675		
詳細URL	https://webdesk.jisa.or.jp/seminar/W12M1010/index/001/005/021		